

1.技 術	4.2 海外からの技術者招聘・研修
2.事 業 名	4.2.25 造水技術に関する海外技術者研修
3.キーワード	造水技術、研修事業、排水処理、排水再利用
4.目 的	本事業は、これまでの経験を基に、主に日本の排水処理・再利用の技術紹介を中心とし海外技術者研修を実施するものである。
5.内容、成果	<p>令和3年度は、世界的な新型コロナウイルスの収束が予想できない状況化の中、海外から研修生を招聘することは困難と考えられたため、Webによる研修の開催を実施した。</p> <p>研修は「海淡コース」及び「排水処理コース」の2種類とし、講師の方(主に造水センター職員)に講義用パワーポイントの作成を依頼し、録音を行い、令和4年2月14日から3月7日までWebによる研修を実施した。</p> <p>(1) 研修内容は、排水処理コースが9項目、海水淡水化コースが6項目で、主に講義とし、見学・視察は実施しなかった。また当初予定していた排水処理場及び海水淡水化施設の動画作成は、コロナの蔓延や、準備不足のため実施しなかった。</p> <p>(2) 質問票への回答者が海淡2名、排水処理4名と少なく、コメントもほとんどなかった。より多くの回答を得るため、質問内容、方法の工夫が必要と思われた。</p> <p>本事業は、本財団の自主事業として実施したものである。</p>
6.参 照	本事業は、本財団の自主事業として実施したものである。